



シドニー留学便り__vol.1



皆様、ご無沙汰しております、博士研究員の鈴木智子です。

この12月から、オーストラリアのシドニーに大学院留学をしております。これから約1年間にわたり、シドニーでの学生生活や日常生活等についてお便りさせていただくことになりました。

不定期ではありますが、少しでも有益な、そして息抜きになるような？情報提供ができればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



オーストラリアの公衆衛生大学院への留学

まずはじめに、オーストラリア留学に関することについて少し触れたいと思います。

日本の公衆衛生の分野では、公衆衛生大学院への留学となるとアメリカの大学が主流ですが、オーストラリアにも多くの公衆衛生大学院が存在します。

大学院プログラムの内容は、国によって、そして大学によって様々ですので、自分の学びたいことと照らし合わせて大学選びをするのが第一です。しかし、留学時期・期間や必要な英語カレベルなど、プログラムの内容以外にも出願先を決める際に考慮すべき事柄が色々あると思います。これらについて、アメリカとオーストラリアでは少し異なる点がありましたので、今後、留学される方が、留学先の選択肢の幅を広げられるように、オーストラリアの公衆衛生大学院への留学について、特にアメリカと異なる点を中心に簡単にご紹介したいと思います。

- ・留学時期: オーストラリアの多くの大学の新学期は2月頃です(アメリカの新学期は9月)。

私の進学するシドニー大学の公衆衛生大学院MPH programは、2月中旬から学生登録やオリエンテーションが始まり、3月から講義が始まります。

年度末は11月末～12月初旬です。アメリカと比べ、日本の学校年度とのずれが少ないです。

- ・出願方法: オーストラリアの場合、基本的に公式エージェントを通して出願します(無料)。

必要書類さえ整えれば、あとはお任せできるので、安心かつ楽です。

一方、アメリカの場合は、出願書類を全て自分でWeb上に登録して出願します。登録システムの使い方を熟読しながらの作業になるため、英語の勉強にはなりましたが、かなり不安でした。

- ・英語力: 出願の際に、TOEFLやIELTSといった語学試験のスコアを添付しますが、必要とされるスコア基準が、オーストラリアの方が若干低めです。もちろん、高いスコアを取れるに越したことはないのですが、英語力に自信のない者にとっては助かります。また、オーストラリアの場合、スコアが基準に満たなくても、それ以外の出願内容が合格基準に達していれば「条件付き入学許可」を出してくれます。この「条件」とは、その時点でのスコアに応じて、「入学前に〇〇週間所定の語学学校に通う」というもので、週数はスコアによります。シドニー大学にもCET(Centre for English Teaching)という語学学校があり、様々な語学サポートプログラムがあります。
- ・その他: アメリカの場合、GREという現地の大学生も受験する数学と英語の試験のスコアを添付する必要があります。数学はまだしも、英語を母国語としない者にとってこの英語の試験はかなり難しいです。しかし、オーストラリアの大学院では、このスコアは必要とされません。

ちなみに、私がオーストラリアの大学院を留学先の選択肢に含めた理由の一つに、3つ目に挙げた英語力の点があります。語学力が多少足りなくても、大学院留学への道が閉ざされないというのが魅力的でした。

さて、前述のとおり、大学院のオリエンテーションは2月に入ってから。にもかかわらず12月に渡豪した理由についてですが、大学院のプログラムが始まる前に、大学院生向けの英語のコースに5週間ほど通うことにしているからです。GAS (Graduate Academic Skills) courseというもので、先ほどご紹介した条件付き入学の英語コースとは異なりますが、同じCETが提供しているコースです。このGASの様子については、またコースが始まりましたらご報告したいと思います。

GASが始まるまでの間は、シドニー市内を歩き回って、環境に慣れることを目標に生活しています。そこで、12月のシドニーの様子をご紹介します。



The University of Sydney

夏のクリスマス in シドニー

ご存知の通り、オーストラリアは南半球に位置しています。そのため、季節は日本と正反対で、現在、夏です。(ちなみに、日本で日当たりが良いのは南向きですが、オーストラリアでは北向きになります。) シドニーでは、ここのところ日中は30°C近くまで気温が上がっています。日本と異なり湿気が少ないため、カラツとしていて過ごしやすいです。ただ、紫外線が非常に強いため、日焼け止めは欠かせません。

季節こそ真逆ですが、生活をする上で、日本と共通する所もあります。まず、車は右ハンドルで左側通行です。そのため、街中では非常によく日本車を目にします。また、物の単位(度量衡)も日本と同じで、cm, m, kg, ml, °C…など同様に使用されているので、とても馴染みやすく、生活しやすいです。

クリスマス前のこの時期、街中を歩いていると、至る所にクリスマスツリーが飾られています。真っ青な空に青々と生い茂った街路樹、そこにツリーがそびえたっているという光景。きれいではあるのですが、どうしても違和感を感じてしまい、なかなかクリスマスシーズンであることを実感できません。きっと、実感できないまま新年を迎え、GAS courseに突入することでしょう。

ともあれ、最初で最後?の夏のクリスマスですから、街の雰囲気をとくさん肌で感じていきたいと思います。それでは、皆様もよいクリスマス、そして新年をお迎えください!!



シドニー中心部 Martin Placeにて



Central station
駅の構内もクリスマス一色です。